

一般質問

## 堀 籠 新 一

[真誠会]



①観光行政について

②教育行政について

### 問

①①今年4月からの「ふくしまステーションキャンペーン」本番での本市の企画と計画内容について伺う。

②昨年1年間に本市を訪れた総観光客数は。

②小中学校の統廃合にかかる本市の今後の対応策について、教育委員会の見解を伺う。

### 答

①①ふくしまDC本番ではイベントの柱に、「二本松の提灯祭り」など、伝統の祭りが共演する5月30日開催の「二本松!お祭り三昧!大集合!」や、郷土料理「ざくざく」の世界選手権開催などの企画を計画している。

②昨年1年間の観光客数は233万3千人で、前年比2.5%の増である。

②教育委員会としては、児童生徒の教育環境の充実を基本として、保護者、地域の方々の要望・意見を十分踏まえた上で、各小中学校の在り方の検討を考えていきたい。

一般質問

## 熊 田 義 春

[市政会]



①豪雨災害復旧について

②有害獣対策（イノシシ）について

### 問

①現在の進捗状況は。

②①平成26年度のイノシシ捕獲数は（実施隊ごと）。

②本市が将来的に考える改善点とその対応はどうするのか。

### 答

①2月末現在、修繕工事740箇所、市単独災害復旧工事23箇所です。また、公共土木施設復旧工事92箇所の内、84箇所が契約となり、そのうち29箇所が完了。

②①2月27日現在、二本松分隊207頭、安達9頭、岩代118頭、東和192頭、合計526頭となっている。

②財政的負担の増大、隊員確保、イノシシの処分方法が課題。対策として、財政的負担は軽減策を国県に要望。隊員確保等は安達地方2市1村で協議していく。

一般質問

## 平 敏 子

[日本共産党二本松市議団]



①子ども・子育て支援新制度について

②高齢者福祉と介護保険制度の見直しについて

### 問

①①公立幼稚園での3年保育の実施は。

②新制度での保育料は。

②①地域包括支援センターの機能の充実の具体的内容は。

②統合事業へ移行するサービスの水準は維持・継続されるか。

③「住民の助け合い」は、公的サービスの受け皿ではなく、現行の利用を前提に、地域づくりの支え合いとして促進するものとしての取り組みが大事では。

### 答

①①希望量がないので行わない。ニーズの変更があった場合に検討。

②国基準の保育単価の8割に。未就学児第2子目以降で無料になる。

②①現在の組織体制のあり方も含め体制・運営方法を現在検討中。

②移行後もサービス低下とならぬよう事業者と調整、準備する。

③サロン等も視野に入れ、多様なサービスを提供できるよう協議したい。社協は介護保険サービス以外の独自のサービスを提供。総合事業に取り入れることも協議したい。

## 菅野 明

[日本共産党二本松市議団]



- ① 東和・夏無沼の仮設焼却場問題について
- ② 有害鳥獣対策について

### 問

- ① 東和地区の多くの住民から反対の声が出ている。当該地への計画に対する民意は「白紙撤回」が多数との結論が出たと思うが、今後の進め方をどうするのか。
- ② 狩猟や罟の免許取得に補助を行い後継者育成を図るべきでは。

### 答

- ① まだ東和全地域に説明していない現状にある。東和各地区での説明会開催なども含め、国と広域行政組合を構成する安達地方3市村で、検討協議しながら対応していく。
- ② 現行では補助制度はないが、平成27年5月改正鳥獣保護管理法が施行される。県は新規免許取得者に対する免許取得費用から罟等の購入費用までの初期必要経費の一部補助等の準備情報があるので、これを周知し隊員確保に努めたい。

## 高橋正弘

[あぶくま会]



- ① 生涯学習の推進について
- ② 太田住民センターの冷房装置について

### 問

- ① ①2月14日、15日東和公民館まつりが開催された。公民館で学び自ら立ち上げた趣味の団体、サークル等が展示・発表の2部門で多くの市民が参加して行った。市において家庭教育学級等世代別事業は実施しているのか。
- ② 市独自の特色ある事業を展開できないか。
- ② 太田住民センターは太田公民館として東和ロードレース大会等夏場の利用も多い。利用頻度を考慮して冷房装置を設置すべきでは。

### 答

- ① ①生涯学習における家庭教育学級、女性セミナー、高齢者学級等世代別の事業は社会教育事業の推進と位置付けて市内18の各公民館で事業を行っている。
- ② 生涯学習の推進においては、市民が求める学習内容は以前にも増して多様化しており、市民各層の要望を取り入れ事業展開したい。
- ② この施設は昭和58年から供用している。利用回数等もあり、供用開始後31年経過していることから修繕計画と合わせ検討したい。

## 平塚 與志一

[無所属]



- ① 工業団地について（復興工業団地を今後どうするのか。）
- ② 27年度予算案及び市長の政治指針について

### 問

- ① ①市長は、本年度も復興工業団地に予算を取らなかったが今後どのように考えているのか。
- ② 杉田地区長命工業団地の進捗状況は。特に農振除外には時間がかかると思うがどうなっているか。
- ② ①人口増加対策に取り組む事業は
- ② 中心市街地活性化の事業は。
- ③ 市民との協働による地域づくり補助金4地区への1,000万円ずつの配分は不公平ではないか。
- ④ 二本松駅南地区整備事業の本年度予定計画は。

### 答

- ① ①情報提供と企業誘致活動を進めているが変化はなく、厳しい状況である。
- ② 杉田地区の農振除外については、早急に進めてまいりたい。
- ② ①定住促進、子育て支援、居住環境整備など総合的に進める。
- ② 空き店舗対策、賑わい促進、活力ある商店街などを支援していく。
- ③ 27年度もう1年やってみて考えたい。
- ④ 住宅団地等進めている。駅との関連や道路配置など検討が必要だ。

請願第2号 政党助成金の廃止を求める請願

賛成

菅野 明 議員

国民1人当たり250円、毎年320億円の税金を国民は自ら支持しない政党に強制的に寄付させられるこの制度は、憲法違反の制度であると指摘し、日本共産党は受け取りを拒否。理念も政策も抜きに助成金目当てに政党の離合集散が繰り返されてきた。昨年暮れの総選挙で各党は「身を切る改革」を主張、本当に身を切ると言うなら、真っ先に政党助成金を廃止すべきというのが国民の声だ。企業・団体献金との二重取りは許されない。

請願第2号 政党助成金の廃止を求める請願

加藤 建也 議員

反対

政党助成金が廃止されれば、機関紙・書籍発行、募金や党員費集め等の収益活動が主な政治資金の原資となり、本来の政治活動からはずれ、一部の主義・思想を持った特定集団に資金が集中する懸念も生じる。また、政治資金には収支報告の公開が義務づけられ（民主主義の理念として税金運用には国民の知る権利が不可欠）ているが、その必要がなくなると私会計化により金の動きが不透明となり、一層の政治不信を招く恐れがあるので反対。

議案第16、36、37、38、39号

二本松市介護保険条例の一部を改正する条例制定について等

斎藤 広二 議員

反対

介護保険料の基準月額が引き上げられ5,300円に。今年から要支援1・2の訪問・通所介護サービスが抑えられ、特別養護老人ホームの新規入所を要介護3以上に制限。施設への介護報酬が大幅に減額され事業者が悲鳴をあげている。介護への国庫負担の大幅引上げが必要。

すべての人に番号がつくマイナンバー導入で成りすまし犯罪多発が危惧され、不正送金が年間30億円。1億円の予算の内6割が市負担。英国は国民世論で廃止した。

請願第1号 年金支給に関わる「マクロ経済スライド」の適用中止と制度の廃止を求める請願

賛成

平 敏子 議員

自公政権は2004年「100年安心の年金」といって「マクロ経済スライド」を導入し、物価・賃金が上がっても年金の引上げを抑制し、消滅し目減りする仕組みを作った。

年金財政は、公的年金全体で178兆円を超える積立金となっており健全財政となっている。年金運用実績で、平成13年から12年間で36兆円を超えている。運用益は年金給付に活用でき十分支払いが可能。よって、請願を採択し国に意見書を上げるべき。

議員提出議案第1号 年金支給に関わる「マクロ経済スライド」の適用中止と制度の廃止を求める意見書の提出について

反対

石井 馨 議員

年金制度維持のためマクロ経済スライドは決定されたが、物価下落にも物価スライドを行わず年金額を据え置き本来の年金額より高い水準で支給されてきた。年金制度では、子供たちへのつけを残さないことが重要。少子高齢化でも将来に渡って制度維持のため「マクロ経済スライド」を実行していくことが大切である。よって、意見書提出に反対する。

3月定例会賛否一覧

※これ以外の案件等は全会一致で可決されています。

議案等名	議員名	決議結果	賛成・反対		本多	佐藤	石井	加藤	本多	熊田	小野	安齋	深谷	菅野	堀籠	佐藤	菅野	小林	浅川	平	野地	平塚	斎藤	佐藤	斎藤	斎藤	高橋	五十嵐	平栗	
			賛成	反対	勝実	運喜	馨	建也	俊昭	義春	利美	政保	勇吉	寿雄	新一	有	明	均	吉寿	敏子	久夫	志一	広二	源市	賢一	周一	正弘	勝藏	征雄	
議案第16号 二本松市介護保険条例の一部を改正する条例制定について		原案可決	21	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第36号 平成27年度二本松市一般会計予算		原案可決	21	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第37号 平成27年度二本松市国民健康保険特別会計予算		原案可決	21	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第38号 平成27年度二本松市後期高齢者医療特別会計予算		原案可決	21	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第39号 平成27年度二本松市介護保険特別会計予算		原案可決	21	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
請願第1号 年金支給に関わる「マクロ経済スライド」の適用中止と制度の廃止を求める請願		不採択	8	16	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
請願第2号 政党助成金の廃止を求める請願		不採択	3	21	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議員提出議案第1号 年金支給に関わる「マクロ経済スライド」の適用中止と制度の廃止を求める意見書の提出について		否決	8	16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠

※○は賛成、●は反対、欠は欠席。 ※議長（中田涼介）は採決に加わっていません。